

● 港区議会議員 清家あい 区政レポート

Minato

Report

2015 春号

港区の
「子育て支援」を
大きく前進!

働くママの100%現場主義。

記者目線で区政をチェック!

港区生まれ、港区育ち、だからこそ。

港区議会議員

清家あい

マニフェスト大賞
最優秀賞受賞



Manifesto
Awards



第9回 マニフェスト大賞 最優秀賞受賞



「ネット選挙・コミュニケーション戦略賞部門」

平成26年11月14日、地方政治での活動実績に贈られる「第9回マニフェスト大賞」の最優秀賞(ネット選挙・コミュニケーション戦略賞部門)を受賞しました。



最優秀ネット選挙・コミュニケーション戦略賞 清家愛・東京都港区議(39)



議員になる前、ブログ上に「港区ママの会」をつくった。待機児童、幼稚園浪人、孤立する母親……。女性たちから悲痛な声が届いた。アクセスは毎日、1000件を越す。「なんとかしたい」。3年前、初当選。ネ

ットでの意見交換を基に政策提言を重ね、母親たちの請願活動を支援。過去最多1371人の保育定員の拡充、幼稚園定員285人増の実現につなげた。10年近く新聞記者として昼夜なく現場へ走った。「子育てができるのか」。結婚後、退社、出産し、フリー記者として両立を目指したが、現実には直面する。当時、港区の待機児童率は23区ワースト。母親たちは孤立し、子供の遊び相手を見つけるのも難しかった。「取材して問題点をあぶり出したい」。確かな情報をブログに載せた。ネットにつながったママ友たちは子供を寝かしつけた後、意見を送ってきた。「子育ては家庭が基本」という観念が残り、園の拡充を少子化との絡みで否定する声もあったが、粘り強く訴え、役所を動かした。請願の議会採択は満場一致だった。「お母さんたちの顔が、役所や議会に見えるようになった。『やれば変わるんだ』という実感を、皆が共有できたことが一番うれしい」と語った。【三枝泰一】

母親たちの活動支援



TBSテレビ解説専門記者室長・杉尾秀哉氏から「今後の議員活動のモデルケース」とご評価いただき、賞状を贈呈されました。

ブログ上に「港区ママの会」を発足。保育園、幼稚園、学童クラブ、障害児支援など政策テーマごとに「意見交換会」を開催し、意見をまとめ、陳情・請願活動をサポート。議会と区民の両輪からの働きかけで、当時23区ワーストだった待機児童の解消をはじめ、多くの子育て支援政策を前に進めることができました。区民一人ひとりが何となく感じている課題をつないで

いくことで、現実を動かす力にしていけること。“動かす実感”を得られることが、「社会の希望」につながっていく。愛するふるさと港区のために、子供たちの未来のために、清家あいはいこれからも真摯にひたむきに活動を続けていきます。

せいけ 清家あい

- 1974年12月25日生まれ
- 港区東麻布で生まれ育ち、旧区立飯倉幼稚園、飯倉小学校卒業
- 青山学院中等部入学、高校3年時に港区の「新南ロータリークラブ」から交換留学生として、オーストラリアの公立高校に1年留学
- 青山学院大学国際政治経済学部、国際政治学科卒業(現代ロシア論、袴田茂樹ゼミ)
- 産経新聞の記者として7年、主に社会部で事件、行政取材を担当
- 港区西麻布で7才の女の子の子育て中。現場の母親たちの声を集め、行政に提言する「港区ママの会」主宰
- 2011年4月、港区議会議員選挙5位初当選。民主党。港区議会「みなと政策クラブ」所属、副幹事長。行財政等対策特別委員会委員長、区民文教常任委員会副委員長など歴任

港区の「子育て支援」を大きく前進!

保育園の待機児童 大幅解消



港区政策形成支援データ集より

保護者たちの切実な入園相談にのり、「東京港区に保育園を増やす会」の陳情活動をサポート。「港区史上最大の定員拡大」が実現。幼稚園と保育園の「就学前カリキュラムの統一」も実現。双子や障害児の入園に配慮を求める陳情活動を支援、実現。平成27年度から、23区初で第2子からの保育料が無料*に!

*対象となる施設や条件などについては、港区役所に直接お問い合わせください。

今後の課題

- 園庭のない保育園に対する代替サポートの制度化
- 認定こども園の増設
- 病児・病後児保育の拡充
- 子供の遊び場づくり、プレーパークの常設化

幼稚園の3年保育化拡大



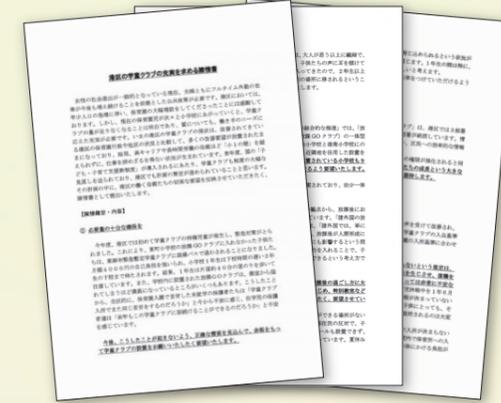
「港区ママの会」で、「幼稚園問題」についての座談会を随時開催。

母親たちの「区立幼稚園3年保育化拡大」の請願活動をサポートし、800人以上の署名付きで議会に提出、採択されました。幼稚園入園をめぐる実態調査と、幼稚園計画の協議を公開とすることを求め、実現させ、今年度ついに物理的に可能な全区立幼稚園での3年保育化拡大計画発表。

今後の課題

- 夏休み保育など、幼稚園の保育サポートの充実
- 幼稚園情報の提供体制の改善

学童クラブの充実



「港区の学童クラブのあり方を考える親の会」発足、陳情活動をサポート。

母親たちの「学童クラブの充実」を求める陳情活動をサポートし、約80人の発起人とともに議会、区、教育委員会あてに提出。議会と両方からの働きかけで、定員拡大、開所時間延長、入会基準の見直し、小学校内の学童クラブ設置の推進、など多くが前進。

今後の課題

- 学校内の学童クラブ増設を推進
- 外遊びを増やすなど、学童クラブのプログラムの質の向上
- 弁当ケータリングサービスの導入

その他、実現した主な政策

- 放射能の影響から子どもたちを守るための対策
- 田町駅東口再開発の「文化芸術ホール」の建設計画変更
- 「高さ制限」導入の素案の修正
- 発達障害児支援の拡充 など

清家あい「4つの政策」

ポ リ シ ー

1.

子育て中の働くママとして、100%現場主義を貫きます。



「笑顔で働きたいママのためのフェスタin六本木ヒルズ」にパネリスト出演。

人口の約1割が外国人で「国家戦略特区」に指定されている港区。グローバル教育の推進に向け、中高一貫の国際バカロレア（世界で通用する大学入学資格を与える教育プログラム）認定校、それにつながる小学校の設置を求めて活動中。また、障害児をもつ保護者たちの声を受け、支援拡充に動いています。

- 保育園&幼稚園&学童クラブの待機児童ゼロ！
- 障害児支援の拡充～医療的ケアが必要な子供たちの「しょうがい保育園」の設置など
- 国際バカロレア認定校の導入
- 「子ども人権オンブズマン」の設置
- シングルマザー支援の拡充

2.

新聞記者の経験を生かし、区政を厳しくチェック。



妥協のない鋭い質問で、区民の声を代弁。

「徹底した情報公開」と「市民参画」で、区政のムダをなくします。区政のICT化を進め、個人に必要な情報が携帯電話に届く仕組み（ショートメールサービス）や、オープンガバメント化を推進するよう活動中。ネット署名による陳情活動などを可能にし、忙しい人たちが区政にアクセスしやすくなるよう抜本的な改革を進めます。

- 「ICT先進自治体」で住民サービス向上
 - ・窓口のワンストップサービス化
 - ・区政情報が携帯電話に届くショートメールサービス
 - ・ネット署名の実現 など
- 事業仕分けの徹底

3.

港区生まれ、港区育ちだから、高齢者が安心して住み続けられる介護・住宅サービスの充実を。



今後、増加が見込まれる高齢者の介護・住宅問題に向けて、介護サービス・施設の充実を求めて活動中。23区初の介護予防総合センター「ラクっちゃ」や、認知症カフェもオープンしました。また、「特別養護老人ホーム」の増設、バリアフリーの推進を強く訴えています。

生まれ育った東麻布・北新睦会のお祭り。愛と感謝でいっぱい。

- 介護サービス・施設整備の推進
- 特別養護老人ホームの増設
- 「ちいばす」の路線拡充
- バリアフリーの推進
- 子育て世代を交えた地域コミュニティづくり

4.

40代の責任世代だから、未来志向の先進的なまちづくりを進めます。

首都直下型地震など災害に強いまちづくり、特に老朽化マンション対策が喫緊の課題となっています。港区では、平成27年度から建物の「高さ制限」が導入される予定ですが、マンションの建て替えが阻害されたり、区民の財産権が大きく侵害されることがないように配慮を求めて活動、素案の修正が実現しました。また、子供たちの未来を守るため、脱原発を進め、自然エネルギー推進に努めていきます。

- 自然災害対策の強化
- 脱原発、自然エネルギーの推進
- 歴史的景観の保全
- お台場や芝浦運河、古川などの水質改善と観光政策の推進





港区政ニュース

平成27年度予算 港区議会第一回定例会 (27年2月18日～3月17日開催)で審議



- 27年度当初予算案は、一般会計で1141億3000万円、特別会計を合わせた予算総額は約1618億5500万円。「みなとパーク芝浦」など大規模施設整備が完了し、一般会計は前年度比約256億円の減額となります。
- 港区の人口は、約24万1千人(27年1月1日現在)。32年度までの6年間で、毎年5000人程度の増加が見込まれ、特に年少人口(0～14歳)の増加率が顕著です。
- 港区の歳入の根幹となる特別区民税収入も増収が見込まれ、安定的に推移する見通しですが、同時に、人口増加による子供、高齢者、障害者などの新たなニーズに対応していく必要があります。

27年度予算 3つの重点施策 ～「みなと政策クラブ」の要望が、多数実現!

- 1 「快適な都市機能と地域のにぎわいを創出するための取組」約81億円
・がけや擁壁改修工事経費の一部補助開始 ・繁華街の客引き防止対策強化など
- 2 「子どもの健やかな成長に向けた取組」約101億円
・待機児童の解消 ・学校施設の充実 ・子育てコーディネーター事業など
- 3 「高齢者や障害者など、誰もが安心して暮らせるための取組」約29億円
・地域包括ケアシステム推進会議の設置 ・産後母子ケア事業の実施など

南麻布4丁目(「ありすの杜南麻布」の隣)に整備計画

- 特別養護老人ホーム…………… 100床+ショートステイ10床
- 障害者支援施設(入所施設) …… 40床+ショートステイ4床
- 児童発達支援センター …… 子ども療育パオは、こちらに移転。通所支援の定員拡大、相談体制など機能強化をはかります。

29年度から建設工事開始、30～32年度に完成予定。

新施設が続々完成!

- 西麻布に「保育園」「子育てひろば」「いきいきプラザ」などの複合施設
- 白金に小中一貫校「白金の丘学園」(朝日中と神応小、三光小が統合)
- JR田町駅東口にスポーツセンターなどの複合施設「みなとパーク芝浦」

清家あいの議会での質問、発言録については、港区議会HPをご覧ください。
<http://asp.db-search.com/minatokugikai/dsweb.cgi/>

清家あい公式HP

www.seikeai.jp

公式ブログAI's eye
(ameblo.jp/aizeye/)と
Facebookで、
港区情報をお届けしています。

連絡先

清家あい事務所

〒106-0031

東京都港区西麻布4-11-28-906

TEL・FAX: 03-3499-2833

E-mail: ai@seikeai.jp

討議資料